

## 東京スカイツリー開業日（2012年5月22日火曜日）の裏事情

過日「東京スカイツリーの開業日は、来年5月22日に決まりました」という報道がありました。当初は、2012年の春先予定であったのに何故この日にしたか？「天体ファン」ならピンとききます。

報道によると「GWの混乱を避けるため」とか「土日を除く平日オープン」などの理由でしたが、間違いなく前日（5月21日）の「東京で観測できる金環食」の対応（これが裏事情）のためです。このことが表に表れていないのは、一般からの苦情（なぜ入場させない）を避けるためだと考えます。もしかすると、前日に「金環食」があることを報道関係者が純粋に知らないだけかもしれません。

以下の参考資料の通り、東京は金環食のルートの「ど真ん中」です。

よって、東京スカイツリーは、観測ポイントとしては最高の場所のため、当日は東京スカイツリーから日本中及び全世界へ向けて中継されると考えられます。（前日まではマスコミの準備で大変でしょう）

「明日オープンの世界一高い電波塔の東京スカイツリーから金環食の映像をお届けします」となれば、東京スカイツリー及びTOKYOの告知・宣伝としては最高となるでしょう。

それ以外のアイデア（例えば、日本が誇る最新鋭の映像カメラのデビュー、あっと驚く仕掛け 等）も考えていられれば、当該関係者及び東京は、したたかな観光・営業・技術戦略であると考えます。

以上、あくまでも山本洋喜による勝手な推測でした。

以下、「つるちゃんのプラネタリウム」ホームページより

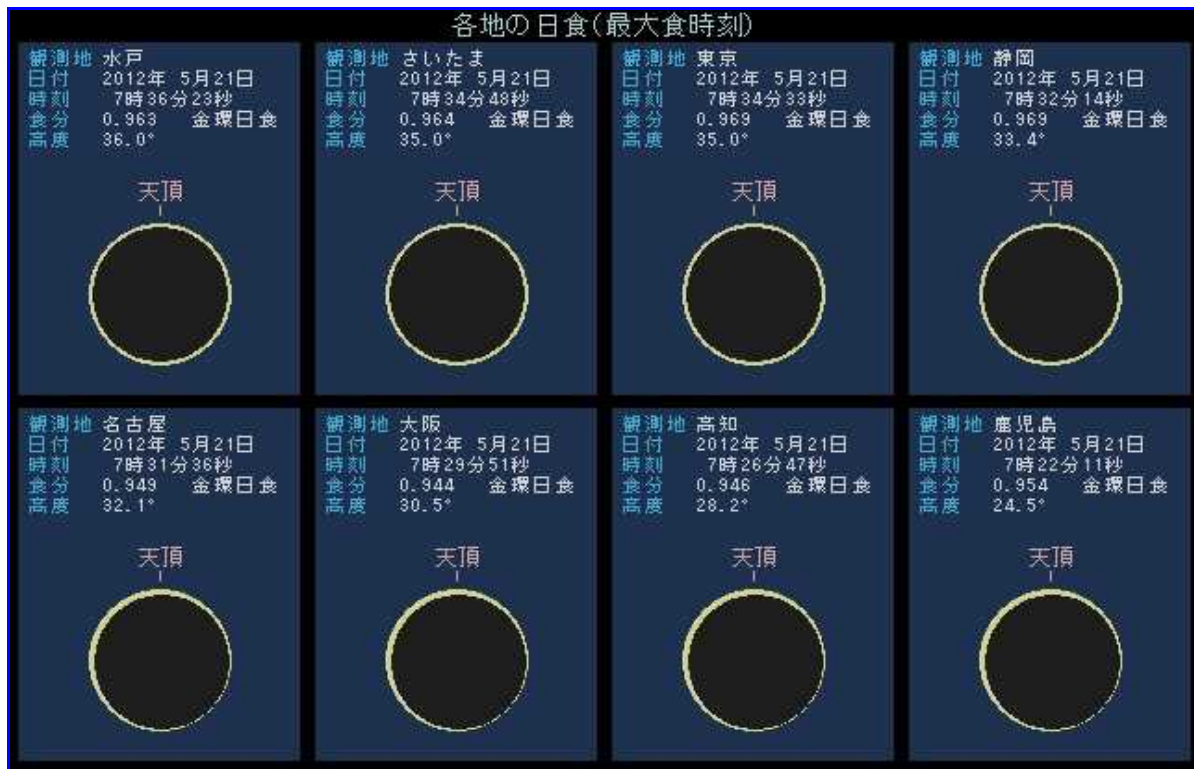
<http://homepage2.nifty.com/turupura/index.htm>

下の地図のように、熊本県人吉以南、高知県、紀伊半島、東海、東京、水戸及び福島県（原発付近も）の順で、金環食を観ることができます。青線と青線の間が金環食で、赤線がセンターです。

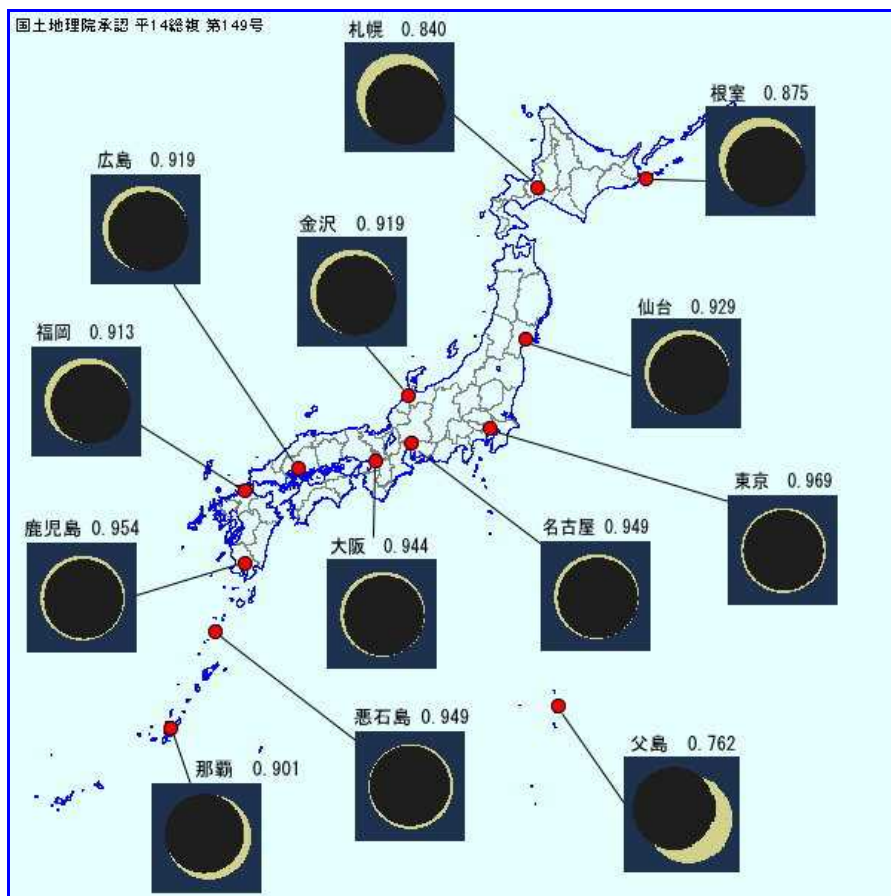


## 東京スカイツリー開業日（2012年5月22日火曜日）の裏事情

観る角度は、下の図のように場所によって異なりますが、「東の空 約25度～35度」です。



先程の地図の青線と青線の間以外は、日本全域部分日食で、下の地図のように観ることができます。



以上